



これが由布市に伝わる庄内神楽です！

庄内子供神楽座について



昭和51年、伝統芸能の継承と青少年の健全育成を目的に結成されました。庄内町の小・中学生で構成され、日々、練習に励んでいます。各地域のお祭り、イベントのアトラクション、福祉施設の慰問等に年間60回程度出演しています。

これまでに、大分県神楽大会や、島根県で開催されたこども神楽フェスティバル等にも出演し、東京都で開催された全国こども民族芸能祭には、九州・沖縄ブロック代表として出演したこともあります。

庄内神楽とは



安永7年（1778年）に世襲神職による神楽の奉納が行われたと言われている、大分県由布市に古くから伝わる神楽を指します。今のような形として始められたのは明治時代の初期のことです。当時の政府により神職が神楽を舞うことが禁じられ、氏子等が引き継いで舞うようになり、その時に伝承されたものと言われています。

主な活動内容

5～10月 庄内神楽定期公演

5～10月の第3土曜日の午後6時から庄内の神楽座が持ちまわりで月1回の定期公演を行っています。



11月3日 庄内神楽祭り

毎年11月3日（文化の日）に、庄内町総合運動公園で庄内神楽祭りを開催しています。庄内神楽を継承する町内の神楽座のほかに、地元の保育園児や高校生などの多くの神楽団体が一堂に会し、一日中神楽三昧で過ごすことができます。



1月2日 庄内神楽新春初舞

1月2日に新年最初の神楽公演を行います。この日は、庄内神楽の代表的な演目を奉納します。

